

**製品名: MEK3 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21303**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:39kD;Observed MW:39kD

**抗原情報**

遺伝子名	MAP2K3 MAP2K3;MEK3;MKK3;PRKMK3;SKK2;Dual specificity mitogen-activated protein kinase
別名	kinase 3;MAP kinase kinase 3;MAPKK 3;MAPK/ERK kinase 3;MEK 3;Stress-activated protein kinase kinase 2;SAPK kinase 2;SAPKK-2;SAPKK2
遺伝子 ID	5606
SwissProt ID	P46734
免疫原	ヒト MEK3 の組み換えタンパク質

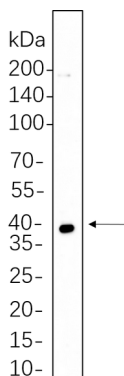
## 背景

細胞局在: 細胞質、核。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、MAPキナーゼファミリーに属する二重特異性タンパク質キナーゼである。このキナーゼは、分裂促進ストレスおよび環境ストレスによって活性化され、MAPキナーゼを介したシグナル伝達カスケードに関与する。MAPK14/p38-MAPKをリン酸化して活性化する。このキナーゼはインスリンによって活性化され、グルコーストランスポーターの発現に必須である。RASがん遺伝子の発現は、このキナーゼの活性型の蓄積をもたらし、MAPK14の恒常的活性化を誘導し、初代培養細胞のがん化を引き起こすことが分かっている。このキナーゼの阻害は、エルシナ・シュードツベルクローシス (*Yersinia pseudotuberculosis*) の病因に関与している。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の選択的スプライシング転写バリエーションが報告されている。[RefSeq 提供、2008年7月]

## 研究分野

-

## 画像データ



Jurkat細胞ライセートを4~20% SDS-PAGEで分離し、膜をMEK3ウサギモノクローナル抗体(1:1000)でプロットした。抗体の検出にはHRP標識ヤギ抗ウサギIgG(H+L)抗体を用いた。